

防災意識の高揚 ～災害に備えた日頃の準備について～

令和6年1月1日に発生した能登半島地震では、県内でも津波警報が発表されたほか、液状化現象などにより大きな被害が発生しました。過去にも「中越地震(H16)」「中越沖地震(H19)」などが発生しています。

災害はいつ起こるかわかりませんが、災害に備えて、普段からどのように行動したら良いかを考え、準備することはできます。いざという時に落ち着いて行動し、自分の身を自分で守るためにも日頃から準備をしましょう。

● 家族で災害に備え、日頃から話しておきましょう

災害はいつ起こるか分かりません。

いざという時に困らないよう、家族みんなで災害発生時の避難経路・避難場所などについて事前に確認しておきましょう。



チェックポイント

- ・家の中でどこが安全（危険）か
- ・避難場所（一時集合場所など）はどこか
- ・安全な避難経路はどこか
- ・連絡方法をどうするか
- ・非常時に何を持ち出すか

● 非常持出品・備蓄品を準備しましょう

家族構成にあわせて、災害発生時になどに持ち出す物を選定し、バックに入れるなどして準備しておきましょう。

また、被災後の生活を支えるために、1人あたり最低3日分を目安として食料、水、生活用品などの備蓄品を準備しましょう。水は1人あたり1日3リットルを目安にして長期保存可能な水を用意しておきましょう。



非常持出品（一例）

貴重品（現金・通帳・印鑑）、懐中電灯、電池、ラジオ、衣類、靴、タオル、歯磨きセット等

備蓄品（一例）

水、レトルト食品、缶詰、菓子類、携帯トイレ等

● 新潟県公式防災アプリ「新潟県防災ナビ」を活用してみませんか



- 無料のスマートフォンアプリです。
- 防災情報・お知らせ通知機能、自宅や職場のハザードマップが確認できます。
- 道路や河川のライブカメラも確認できます。

App Store



Google Play

